

お寄せいただいたねこの時事問題特集

【富山県・北日本動物福祉協会 / ウイズあにまるずより...】

・獣医師会のノラ猫不妊手術無料キャンペーン 1998年2月より北日本動物福祉協会や市民の要望に応えた富山県獣医師会の協賛を得て始まった「獣医師会による無料キャンペーン」は形を変えて続いています。北日本動物福祉協会の定例新聞広告「外猫の不妊手術にお困りの方ご相談ください」キャンペーンには、格安手術費協力獣医さんと善意のひとたちの連携で、毎月4～70頭のノラ猫が手術を受けています。

・地域猫活動の実現を願って!! 富山県内の町役場所管地に県建設局が設置した「猫の餌やりを禁止する」看板がありました。北日本動物福祉協会が県の愛護動物担当などに理解を求めながらセッティングした、地元自治会や地域猫推進住民の話し合いには、町や県、保健所からも参加者多数でした。自治会の動物愛護推進の理解を得て、地域猫活動が受け入れられ、同局は設置した看板を撤去しました。

・1枚のチラシから 1頭のメス猫から1年間で多くの猫が繁殖することを、イラストで表わしたチラシを作ったところ、大きな反響が全国の自治体や地元の衛生局からもあり、市の広報紙に掲載されました。猫や動物を思う人たちの輪は確実に広がっています。

【東京都・ねこだすけより...】東京都動物保護審議会の答申に基づき、数年前からの懸案だった地域ねこ対策モデルプランが今年度内にも都内で実行される見通し。モデル計画が整い次第の公式なリリースが待たれています。

【広島県からは...】農協組合長時代の背任容疑で逮捕された広島県八千代町町長は、犬ねこのテーマパーク建設を町議会の議決を経ないまま計画。自費で100頭を超える犬やねこを購入し繁殖もしたが、町営テーマパーク建設の実行計画は決定されていない。(2.22.毎日新聞既報) 尚、犬及びねこの処遇が確定しないこともあり、犬及びねこの保護や管理方法に加えて、周辺環境の保全に係わる申し立てが住民より起ったとされている。

【長崎県・沖縄県からは...】従来よりねこの人工繁殖施設(キャテリー)などからの発生臨床事例が検証されていたねこウイルス性感染症のうち、猫免疫不全ウイルス(FIV=猫エイズ)が、長崎県上県町で保護されたツシマヤマネコ1頭に感染している可能性が高いことを環境省対馬野生生物保護センターが発表した。(2.15.毎日新聞既報)

沖縄県竹富町町議会は、絶滅が心配されている国の特別天然記念物イリオモテヤマネコへの猫免疫不全ウイルス感染対策として、ねこを登録して繁殖制限措置を行う「飼いねこ登録条例」を制定する方針を決めた。(3.7.琉球新報既報)

【熊本県・岡山県からは...】改正動物愛護法の施行をうけて、熊本県ではペット条例の改正に向けた検討を始めた。

「県動物の愛護及び管理に関する条例案」を岡山県の2月定例議会に提案。「県飼い犬取締条例」や「危険な動物の飼養及び保管に関する条例」などの統合改正が盛り込まれる見込。(関連記事は/2.26.熊本日日新聞社・2.21.山陽新聞既報)

尚、ペット条例の改正に関連しては、各地域行政の動物対策措置が旧・動管法や改正動物愛護法などに準拠しているのか否かを問われる事態が全国各地で起っています。例えばねこの駆除を目的にした捕獲器具を行政が市民に貸与する事態などは顕著な一例です。これらの事例をうけて、該当地域の市民などからの改善要請行動も頻繁に起っています。一部の委細情報は下記のウェブサイトにもあります。

[http://www02.so-net.ne.jp/tamaco/jn\\_kinkyu\\_shuryo.html](http://www02.so-net.ne.jp/tamaco/jn_kinkyu_shuryo.html)

ファックスニュースのインターネット.pdfファイルを近日掲載予定 <http://nyanko.circle.ne.jp/pdf/news11.pdf>

AWN会員からこのファックスをお知り合いの皆さまに転送していただく際に、その旨のご連絡は不要です。AWN連絡会にご参加がお済みでない場合にはお知らせください。動物時事問題などに関する新聞切り抜き記事などをお寄せください。このファックスが不要の際や、不適切にお届けされた際には大変お手数ですが下記までこの用紙にチェックの上返信いただくと幸いです。ご連絡/返信先Fax.03-3350-6440 NPOねこだすけAWN連絡会係